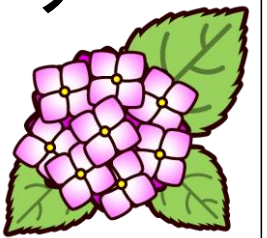


新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの



天からの

試練が今日も

どっさりど

(はるみのワクワク川柳)

3月14日
安藤はるみ日本共産党後援会
事務所開き行われる



井上よし子さんによる素敵なお歌で始まり各後援会長、津軽農民組合長の工藤保氏、弘前大学名誉教授の神田健策氏から激励のご挨拶をいただきました。最後は全員で「団結ガンバロー」

2月23日から3月17日 今期最後の定例県議会

提出議案に対する質疑 3月6日・9日

- 職員給与への人事委員会勧告で平均2割引き下げの総合的見直しは認められない
- 10月から始まる共通番号制度はプライバシー侵害・なりすましの危険あり



予算特別委員会 3月11日

- 健康長寿県実現に保健師削減は認められない
- 国民健康保険広域化に伴う保険料引き上げ許さない
- 第三子以降すべての児童の保育料軽減措置復活を
- 子どもの医療費。中学卒業まで無料化を



農林水産委員会 3月13日

- 米価下落対策として県でも種子助成を
- りんごの晩成品種開発進めよ

※各委員会質問の一部の報告です。



農林水産委員会 2月20日

- オーストラリアとのEPA締結の影響からりんごを守れ
- りんご有袋栽培の維持に向けて取り組みの強化を



閉会日に一部反対討論行う
安藤県議

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。 ■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。 2月の相談対応8件。

大分出身の夫と東京出身の私がこの弘前の地にやってきたのは、34年前になりました。高速道路ももちろん新幹線も青森まではつながっていない時でした。夫は一足早く車を走らせ、私は特急列車「いなほ」に乗ってやってきました。3ヶ月と見3歳5歳の息子をつれての旅はいささか大変でした。私の両親も一緒に来てくれました。翌朝半ズボン姿の上2人が日陰にまだ残る雪の山に大はしゃぎでした。今ではここ弘前が私たち夫婦にとって大切な第二の故郷となりました。ここで育った子どもたちにとっては大切な第一の故郷です。家族みんな弘前が大好きになりました。自然、文化、懸命に生きる人々すべてが魅力です。この弘前にくらす人々のために、そして平和を守るためにと押されて議員になって20年が経ちました。(市議3期県議2期)

子どもたちには私たち夫婦がそうであったように生きる糧をえるために親元から離れて生きる選択を保障してきました。しかし、私たちも年を重ね、特に昨年は夫が大病を患ったもので近くに子どもがいたらどれだけ心強いかと、次男に妻を伴って帰ってきてもらうことになりました。この先Uターンしてきた息子夫婦の仕事が確保できるのか一番の難題が横たわっているのですが、ひとまず私たちにとって「安心」を得る春となりそうです。

